



2017年6月12日
一般社団法人G1

ニュースリリース

「G1メディアアワード 2017」を授与

サイバーエージェント 藤田晋氏

クリエイティブディレクター 佐々木宏氏

東宝 山内章弘氏、映画プロデューサー・小説家 川村元気氏

一般社団法人G1は6月11日(日)、日本社会の発展に貢献するメディアや人物を顕彰する「G1メディアアワード 2017」の授賞式を執り行い、創造と変革、海外発信、特別賞の3部門で4氏にアワードを授与しました。



写真は左から、川村元気氏、山内章弘氏、佐々木宏氏、藤田晋氏

各部門の受賞者は以下の通りです。

<創造と変革部門>

株式会社サイバーエージェント 代表取締役社長 藤田晋氏

<海外発信部門>

クリエイティブディレクター 佐々木宏氏

<特別賞>

東宝株式会社 映画企画部部長 山内章弘氏

映画プロデューサー・小説家 川村元気氏

藤田晋氏は、2016年4月にインターネットテレビ局「AbemaTV」を開局。従来のテレビとは異なる新たなメディアとして注目を集め、開局から2年で1700万ダウンロードを突破しています。新たな視聴習慣と多彩なコンテンツを多くの人に提供したことを称え、創造と変革部門賞を授与します。

佐々木宏氏は、2016年のリオデジャネイロオリンピック閉会式で、次回都市の東京へ旗を引き継ぐフラッグハンドオーバー・セレモニーを演出。マリオに扮した安倍首相が地球の裏側から登場するなどのサプライズ演出で世界中の注目を集め、2020年の東京オリンピックに向けた機運醸成に大きく貢献しました。これを称え、海外発信部門賞を授与します。

山内章弘氏は、2016年の大ヒット映画「シン・ゴジラ」のエグゼクティブ・プロデューサーを務め、特撮映画の新境地を開拓しました。未曾有の脅威に政府や関係者が一丸となって立ち向かう姿をリアルに描写し、全世代から絶大な支持を集めることを実現。この功績を称え、特別賞を授与します。

川村元気氏は、2016年の社会現象にもなった映画「君の名は。」のプロデュースを担当。若者を中心に世界中で圧倒的な支持を集め、主題歌や名場面がさまざまなメディアや SNS で拡散されるなどし、異例のヒットを生み出しました。これを称え、特別賞を授与します。

◆受賞者の略歴

<創造と変革部門>

藤田晋氏 株式会社サイバーエージェント 代表取締役社長



1998年、24歳でサイバーエージェントを設立し、2000年に当時史上最年少社長として26歳で東証マザーズ上場、2014年9月に東証一部へ市場変更した。創業から一貫して、インターネット産業において高い成長を遂げる会社づくりを目指し、「21世紀を代表する会社を創る」を会社のビジョンに掲げる。

<海外発信部門>

佐々木宏氏 クリエイティブディレクター



1954年九州熊本で生まれ、その後、東京から北海道と幼少期は全国縦断の日々。ビーチーズに熱狂。陸上50メートル6秒台の自称俊足でスピードスケートにも夢中。中学時代に東京に戻るが、父親が急逝。ドラえもんに出会う。愛読書も座右の銘もドラえもんになる。苦学生となるが、奨学金によりK大学卒。TV局のディレクターを目指す。不況のため募集ゼロ。77年電通入社。新聞雑誌局6年を経て、28才の時クリエイティブ局への転局試験に合格。コピーライター(ヘボ)となる。上司や、スタッフに恵まれ、これ以上ない幸運な電通生活26年を卒業し、48才にして、「シンガタ」設立。これまた様々な波瀾万丈に見舞われるも、ヘラヘラ乗り越え、リオの件で、地球を3周し、現代に至る。趣味は、広告。あとは、なじみの飲み屋で、食べて、飲んで、歌うこと。

<特別賞>

山内章弘氏 東宝株式会社 映画企画部部長



東宝株式会社 映画企画部部長。テレビ部、映画調整部を経て2012年より現職。主なプロデュース作としてドラマでは「トリック」全シリーズ、「矢部謙三」シリーズ、「マイ☆ボス マイ☆ヒーロー」「エライところに嫁いでしまった！」等、映画では「トリック」全シリーズ、「電車男」、「チームバチスタの栄光」シリーズ、「神様のカルテ」シリーズ、「プラチナデータ」、「進撃の巨人」「orange-オレンジ」「アイアムアヒーロー」「シン・ゴジラ」など。年内公開待機作は「君の隣臓をたべたい」「奥田民生になりたいボーイと出会う男狂わせるガール」「亜人」など。

川村元気氏 映画プロデューサー・小説家



1979年生まれ。『告白』『モテキ』『君の名は。』『怒り』などの映画を製作。2010年、米The Hollywood Reporter誌の「Next Generation Asia」に選出され、翌2011年には「藤本賞」を史上最年少で受賞。映画『君の名は。』は、興行収入249億円を突破した。2012年、初小説『世界から猫が消えたなら』を発表、同作は130万部突破のベストセラーとなり、2014年に発表した絵本『ムーム』はアニメ映画化され、現在32の国際映画賞を受賞。その他の著書として『億男』『仕事。』『理系に学ぶ。』『超企画会議』など。2016年、最新小説『四月になれば彼女は』を発表した。

◆過去の「G1 メディアアワード」受賞者（※肩書きは受賞当時のもの）

【2016 年】

創造と変革部門	梅田優祐氏	ユーザベース 代表取締役共同経営者
海外発信部門	佐々木芽生氏	映画監督 プロデューサー
特別賞	浅井茉莉子氏	株式会社文藝春秋 「文藝界」編集部

【2015 年】

創造と変革部門	森川亮氏	LINE 株式会社 顧問
海外発信部門	鈴木健氏	SmartNews 株式会社 代表取締役
特別賞	堀江貴文氏	

【2014 年】

創造と変革部門	川上量生氏	株式会社ドワンゴ 代表取締役会長
海外発信部門	亀井智英氏	Tokyo Otaku Mode Inc. Founder and CEO
特別賞	津田大介氏	ジャーナリスト／メディアアクティビスト

■一般社団法人 G1 について (<http://g1summit.com>)

「日本版ダボス会議」を目指して 2009 年 2 月に創設。「日本を良くする ために、各界のリーダーたちが議論し、行動するためのプラットフォーム。」 G1 サミットを含め 7 つのイベント、5 つのフォーラムと 2 つのシンクタンク、各種部会・イニシアティブを展開しています。2016 年 2 月 22 日に「日本を動かす 100 の行動」を出版。明確なビジョンに向かい、行動中です。

■本リリースに関するお問い合わせ先

グロービス 広報室

E-mail:pr@globis.co.jp TEL:03-5275-3870 FAX:03-5275-3890